

2024 年 GW イベント企画書

コロナ禍で落ち込んでいた観光地へも国内外から客足が戻って来ている。その中で、周辺住民だけをターゲットとしたイベントではなく、観光客も立ち寄ることができるイベントの開催が注目されている。特に環境や健康に配慮された商品を提供するショップが連なる「エコマルシェ」が日本各地で開かれており、伊東市の観光業の活性化と環境への配慮を PR することを主な目的として、「Kawana Earth Festa2024」の開催を提案いたします。

作成日：2024 年 2 月 24 日

作成者：白井ゆみ（MORE 企画代表）

概要
<p>【日時】2024 年 5 月 4 日（土）・5 月 5 日（日）9 時 00 分～15 時 00 分</p> <p>【場所】川奈ダイビングエリア（駐車場～エントリーポート間の壁沿い）</p> <p>【企画・運営】MORE 企画、いとう漁協 川奈支所 川奈ダイビングサービス</p>
目的
<ul style="list-style-type: none">・伊東市の観光業活性化（2 日間で県外より 300 名の集客の予定※内ダイバー 200 名）・川奈エリアの活性化と環境への取り組みの啓蒙（海岸清掃や水中清掃の啓発含む）
具体的な内容
<p>環境に配慮した商品やサービス等の紹介と販売</p> <ul style="list-style-type: none">・MORE 企画の環境活動紹介ブース・アップサイクル品や環境に配慮した店（アクセサリー、エコたわし、みつろうラップ等）・海のイラスト店（一部の売上を寄付しているイラストレーター）・コーヒーショップ（フェアトレードやオーガニックの豆使用、プラ蓋無しのカップで提供）・オーガニックや発酵食品、無添加を中心とした飲食店（紙のテイクアウト容器使用）・PADI ブース（環境に配慮した商品の紹介や活動の紹介） 等 <p>海岸・海中・街中清掃</p> <ul style="list-style-type: none">・ゴミ袋とトングを各所に用意し、ダイビング前後に海岸清掃ができるようにする（イルカ浜、エントリーポート、港の周辺等、人数と移動方法で場所は検討）・清掃後のゴミをまとめておく場所を作り、2 日間で拾えたゴミの量を計測する・ゴミ拾いを啓発するブースを作り、水中清掃の大切さをダイバーに伝える・海上保安庁も参加をして、ビーチクリーンを実施する
詳細
<p>【集客方法】</p> <ul style="list-style-type: none">・ダイビングサービスでのポスター SNS、ショップへの周知・ダイビングショップや関係者（出店者含む）の SNS 周知・観光協会や環境課、地元の活動団体と協力し各所で周知・メディア事前掲載（伊豆新聞、ダイビング WEB マガジン） <p>【後援・協力】</p> <p>伊東市観光課、伊豆新聞、伊東なぎさステーション、海上保安庁（伊東マリンパトロールステーション）</p>

前年の実績

来場者：のべ約 160 名（ダイバー、観光客、地元の方々、スタッフ含む）

拾えたゴミの量：2 日間で約 60 kg

出店者数：13 店舗

メディア：伊豆新聞、なぎさステーション、CVA

会場の様子

